

教 育 目 標

全力一心 「自ら学び、心豊かに、やさしく、かしこく、たくましく生きる児童の育成」

目指す児童像 ○ やさしく【徳】 ○ かしこく【知】 ○ たくましく【体】

[学校経営ビジョン]

小学校6年間を通して「自分に誇りを、友に誇りを、学校・地域に誇りをもつ子どもたち」の育成を図り、地域に信頼される学校を創造する。
 ☆自分に誇りを・・・自分のために学び続ける、自尊感情・自己肯定感の高い子どもたち
 ☆友に誇りを・・・友のために学び合う、豊かな心や思いやりのある子どもたち
 ☆学校・地域に誇りを・・・学んだことを学校や地域に生かす、実践力のある子どもたち

重 点 目 標	目 標 達 成 の た め の 手 段
<p>1 生涯学習の基礎を培う、「学びづくり」 縦の接続と横の連携を重視し、児童の個性や能力を引き出し、鍛え、伸ばし、見届ける教育を推進する。</p>	<p>① 授業力向上を図る研修の充実 ・授業研究を核とした校内外の研修、OJTの推進 ・学年部での授業の構築（1人1授業、相互参観授業の実施） ・Web学習単元評価システムの活用推進と授業改善 ・少人数指導の工夫・改善</p> <p>② 基礎的・基本的な内容の確実な定着 ・「がってんタイム」の計画的な活用 ・家庭学習の充実を図る具体的指導 ・単元テスト、学習内容80%以上の定着 ・CRT検査の全国平均達成</p> <p>③ 読書活動の推進 ・読み聞かせの場の設定（学級担任、あけぼの会、児童等） ・家読（うちどく）の奨励 ・月平均一人（5冊）</p> <p>④ 計画的な作品応募、投稿等の推進（学級1点以上） ・新聞への投稿、町内外感想文・画作品展への応募等</p>
<p>2 相手を思いやり行動できる、豊かな「心づくり」 基本的な生活習慣の確立と共感による児童理解を基に、心豊かで自ら考え、判断し、行動できる自己指導能力の育成を図る。</p>	<p>① 時と場に応じた行動がとれる子どもの育成 ・気持ちよいあいさつと返事の定着 ・右一静歩、チャイム黙想の徹底</p> <p>② 教児同行「共汗・協働」の推進 ・朝の奉仕活動の推進 ・無言清掃の徹底</p> <p>③ 生徒指導の三機能（自己存在感、共感的な人間関係、自己決定の場）を生かした教育活動の推進 ・アンケート（月1回）、教育相談の実施 ・えがお推進員会の充実と不登校児童0の実現</p> <p>④ 人権に配慮した教育の推進 ・参観日の道徳授業の公開（年1回以上） ・人権教育研修の充実（年3回）</p>
<p>3 生涯スポーツの基礎を培う、心身ともに健やかな「体づくり」 運動に親しむ態度や体力の向上を図るとともに、保健指導や食に関する指導（食育）を充実し、健康安全意識の高揚を図る。</p>	<p>① 体育科授業等の充実 ・体力向上プランに基づく個や集団に応じた体力づくり ・体力向上週間（サキヨ・遊び、歩く、なぐとび運動）の実施（学期1回） ・各領域の例示等の系統的な指導 ・主運動につながる「からだほぐしの運動」等の充実</p> <p>② 外遊びの奨励、運動の日常化</p> <p>③ 保健指導の徹底と食に関する指導の推進 ・性に関する教育、エチケットデーの計画的な実施 ・「早寝、早起き、朝ご飯」の実践100% ・給食の指導、「弁当の日」等の取組の推進</p> <p>④ 保護者との協働による生活リズムの推進 ・「みそ汁+1」「スイッチ・オフ」「ファミリー運動」作戦</p>
<p>4 児童一人一人の教育的ニーズを把握し、その可能性を最大限に伸ばす、特別支援教育の充実</p>	<p>① 通常学級との交流や居住地校交流の推進 ② 特別支援教育の研修の充実（年3回） ③ ことばの教室の充実（川南町地区・都農町地区） ④ 幼保小連携と小中連携の推進、就学前の幼児理解と関係機関との連携・充実</p>
<p>5 学校・家庭・地域と一体となった、「信頼される学校づくり」 地域の実態や特性を生かし、地域の学校として、子どもたちを共に育てるための環境づくりに努める。</p>	<p>① 組織としての学校運営の活性化（報告・連絡・相談） ・役割と責任の明確化、職務内容の明示 ・開かれた学校づくり</p> <p>② 防災意識の高揚と危機管理能力の向上</p> <p>③ 学校評価を生かした教育課程の改善</p> <p>④ 地域の物的、人的教育資源の有効活用、学社融合の推進</p>

[川南町教育基本方針]

ふるさと川南を愛し、未来を拓く 心豊かでたくましい 川南の人づくり